

TESになるためには

TES試験は、短答式・記述式の2つがあり、次の①～⑤の5科目により行われます。

出題の範囲の概要や評価の基準は次のとおりです。

短答式 ～基礎知識を問う～

①繊維に関する一般知識〔繊維一般〕

1. 繊維の種類と性質
2. 糸、布地等の種類・製造・性質
3. 染色・加工

②家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識〔製造・品質〕

1. 衣料品等の企画・設計・製造
2. 衣料品等の要求項目と消費性能および試験法
3. 品質管理と品質保証

③家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識〔流通・消費〕

1. 消費者行動とその調査方法
2. 消費者問題と消費者政策
3. 経済の変化と衣料の流通・消費
4. 衣料品等の消費と消費者苦情・環境問題

記述式 ～識見・応用能力を問う～

④事例

事例の試験は、繊維製品の品質・性能に関する消費者苦情の発生を未然に防止するための製品企画および品質管理に関する応用能力の有無を問うものです。評価は苦情の発生原因の究明、再発防止策など問題解決の的確性に主眼を置きます。

⑤論文

論文の試験は、社会および繊維産業の現状の理解のうえに、繊維製品品質管理士として必要な識見を問うものです。評価は、解答の論点的確性、内容の深さおよび論旨の一貫性によります。

試験科目の取りだめ方式

合格した科目は合格した次の年から数えて3年間有効です。したがって、5科目を4年間で段階的に合格し、TESの資格を取得することができます。

取りだめ方式の活用

2022年度における受験年度別の合格率は次のとおりです。

受験回数	受験者数	合格者数	合格率
初回	653名	35名	5.4%
2回	356名	78名	21.9%
3回	272名	72名	26.5%

2回目、3回目と合格率があがっています。

1回であきらめず、取りだめ方式を活用し、2～4年計画で挑戦してください。

試験の一部免除制度

試験科目のうち『繊維に関する一般知識』には試験免除の制度を設けています。免除が認められますと、この科目は合格として認められます。

注：免除の可否は審査によって決まります。

資格免除

衣料管理士の称号を持つ人

※学歴免除・職歴免除は2019年度試験をもって廃止となりました。

TES試験の受験テキスト・過去問題集

- 「繊維一般」「製造・品質」「流通・消費」試験のテキスト
新訂4版 繊維製品の基礎知識シリーズ(3分冊) 5,610円(税込)
- 「事例」試験のテキスト
繊維製品の品質問題究明ガイド
－消費者苦情の原因究明・再発防止策－ 4,180円(税込)
- TES試験問題集(過去3年分・解答例付) 1,980円(税込)

願書の申込・問い合わせ

一般社団法人 日本衣料管理協会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-11-13-205

TEL 03-3437-6416 FAX 03-3437-3194

E-mail: jasta@mtb.biglobe.ne.jp

<http://www.tes-shikaku.jp>(TESのHP) →

<http://www.jasta1.or.jp>(協会のHP)



ファッションビジネス必携資格

繊維製品品質管理士

TES

Textiles Evaluation Specialist

2023年試験日

7月9日(日)

<http://www.tes-shikaku.jp>

2023年 繊維製品品質管理士

試験実施要項

一般社団法人
日本衣料管理協会

2023年TES試験

《試験日》

2023年7月9日(日)

《日程》

■4月1日～5月12日	願書配布
■5月1日～5月19日	出願の受付(消印有効)
■7月9日(日)	試験日
■9月中旬	試験結果通知
■11月1日	認定日

《試験会場》

東京試験場	実践女子大学 渋谷キャンパス 東京都渋谷区東1-1-49
名古屋試験場	ウインクあいち 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38
関西試験場	京都女子大学 京都府京都市東山区今熊野北日吉町35
福井試験場	福井大学 文京キャンパス 福井県福井市文京3-9-1
倉敷試験場	倉敷ファッションセンター 岡山県倉敷市児島駅前1-46
福岡試験場	JR博多シティ会議室 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1

※新型コロナウイルスの感染状況により、試験会場の変更や試験を中止する場合があります。
最新情報は随時ホームページにてご案内します。

《受験資格》

学歴・年齢問わず誰でも受験できます

《手数料(税込)》

■ 受験料	
初受験の方	14,300円
継続受験の方	11,000円
■ 免除判定申請料	6,600円
■ 認定登録料	12,100円

製品の品質向上・社員の能力開発など、企業に貢献するスペシャリスト資格

繊維製品品質管理士(Textiles Evaluation Specialist=TES)は、1981年度に通商産業省の告示(1997年12月18日廃止)に基づいて生まれたもので、消費者に供給される繊維製品の品質・性能の向上を図り、消費者からのクレームが発生しないように、製品の製造や販売を行う企業のなかで活躍するスペシャリストです。その狙いは企業活動の合理化、消費者利益の保護、企業・消費者間の信頼関係の改善にあります。

1982年から実施され、すでに約8,530名(2022年12月現在)のTES有資格者が誕生し、繊維業界のさまざまな企業で活躍しています。

消費者行政 消費者との接点で

消費生活センターの相談窓口では、クリーニングトラブルや衣料品の品質・性能に関する苦情が寄せられることから、TESが専門知識を生かして対応しています。相談窓口以外に商品テスト、消費者啓発・教育などでも活躍しています。

専門店 TESを高く評価

意欲的にTESを導入する専門店が出てきました。有力専門店では、『店に寄せられる問い合わせは品質に関することが多いが、TESで身につけた知識で的確な対応をしている。もの作りの部署やクレーム対応の専門家だけでなく、物流部門の担当者も、自らに磨きをかけるためにTESに挑戦している。TES導入後、良品を届ける意識が格段に高まった』とTESを評価しています。

小売 顧客の声に忠実に

百貨店、量販店の商品試験室の繊維部門の関係者の多くがTESを取得し、衣料品の品質管理、販売員への教育・指導、顧客対応などの業務で活躍しています。

販売現場では、素材の特性、色落ち、家庭洗濯やクリーニング、保管方法、表示の意味など、顧客からのさまざまな質問が増えています。TESは、これらの質問に適切に回答して顧客の信頼を得ています。

アパレル ファッション性と品質を追求するTES

TESの活躍が特に期待されているアパレル業界は、TESの受験者・取得者ともに一番多く、受験者が多い職種は、商品企画、営業、品質管理、生産管理です。

受験者の職種が、品質管理のほか、生産技術・管理、営業、MD、デザイナー等に広がりを見せています。

消費者の品質要求や、サステナビリティへの関心が高まっているなか、今後、TESに対するアパレル業界の関心はさらに高まっていくでしょう。

TES 繊維製品品質管理士
Textiles Evaluation Specialist
<http://www.tes-shikaku.jp>

通信販売 品質をとりわけ重視

インターネットやカタログを見て購入を決める通販では、消費者が実物を見て触って確認することができないので、提供する情報や商品の品質には細心の注意を払う必要があります。

そのため、マーケティング部門や品質保証部門においては「品質」の位置付けが高く、主にMD、品質保証、企画、営業の部門でTESが活躍しています。

商社・卸 グローバルな視点で高まるTESのニーズ

「商」の機能を果たす商社においても、中国生産からアセアン生産へと生産拠点の広がりをみせているため、より品質に関する広範囲な知識が必要となってきています。第一線で活躍する営業職を筆頭に、その他の職種も含めた「人材育成戦略」の一環として、TES受験を推進する企業が増えています。

染色・整理・テキスタイル 取引上、TESが必須

得意先のアパレル主要企業にはTESが配置されていることから、染色・整理業界の企業では、TESを取得して得意先と品質問題の解決策を探り、商談を円滑に進めるため、TES取得の必要性が高まっています。

また、TES会の活動を通じて得られる情報を新しい加工方法の開発などに役立てています。

素材メーカー・紡績 人材育成にTESを活用

繊維の専門知識や周辺の幅広い知識を身につけるために、営業を中心にTES取得に取組む素材メーカーも出てきました。TES制度が素材メーカーの繊維事業を支える「人材育成」に大いに役立つからです。

繊維系学部への減少にとまじり、新人社員にTES受験を奨励する企業も増えてきました。

繊維関係の検査団体 TES取得を積極的に奨励

自社内に試験・検査部門をもつアパレルは大手の一部に限られ、多くは検査団体に依頼しています。検査団体は、いわば「アパレル業界の品質管理部門」の役割を果たしています。新人から経営層に至るまで、検査機関の多くの人がTESを取得しています。

クリーニング 繊維業界との接点づくり

衣料品は着用や使用を経てクリーニングの段階で消費性能上の問題が表面化します。

そのためクリーニング業界のTESは、苦情解決や未然防止策を講じる必要性から、繊維業界や流通業界とのネットワーク(TES会)をフルに活用しています。